

未来の途中プロジェクト

未来の途中の途中の途中の部分



小笠原周

OGASAWARA Shu

香川裕樹

KAGAWA Hiroki

清田泰寛

KIYOTA Yasuhiro

小宮太郎

KOMIYA Taro

寺岡海

TERAOKA Kai

むらたちひろ

MURATA Chihiro

2017.1.28(土) - 2.12(日)
京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

11:00 - 19:00 月曜休館 入場無料

主催 = 文化庁、京都工芸繊維大学、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、京都市立芸術大学
制作 = 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto



京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

未来の途中プロジェクト

未来の途中の、途中の部分

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

2017.1.28(土) - 2.12(日) 11:00 - 19:00

京都工芸繊維大学美術工芸資料館が若手作家の成長支援を目的に実施している「未来の途中」プロジェクトの3期生として、公募と推薦を通して集った10名の作家たち。彼らは昨年度、「未来の途中のリズムー美術・工芸・デザインの新鋭10人」展(京都工芸繊維大学美術工芸資料館、2016年1月から2月)を開催しました。そして今年度、プロジェクト2年目のプログラムとして、京都にある15の大学附属ミュージアムのネットワークである「京都・大学ミュージアム連携」と連動し、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUAならびに京都造形芸術大学ARTZONEとタッグを組み、ゲスト作家として招聘したプロジェクト1期生とともに展覧会を実現することで、さらなる飛躍を目指します。

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUAでは、プロジェクトタイトルである「未来の途中」という言葉の「途中」に焦点を当てます。参加作家たちは本展への出品作品の中に、それぞれの「未来」に対して、自分がまだ「途中」にあると思うもの、ことを表します。

人は誰しも「途中」の中に存在することしかできません。仮に自分が想像した「未来」に到達することができたとしても、到達した瞬間にその到達地点は、「未来」へ向かう「途中」に変わることになります。私たちの現在は「途中」の中にあり続けるのです。そのような中で、具体的にどのように「途中」であるのかを知るためには、目標とする「未来」と自分の現在地点との距離を測る必要があります。これは、ただ漠然と「未来」を思い描くよりもはるかに難しい作業です。

若き作家たちは、どのような「未来」を夢見て、そしてその「途中」のいま、どのような現在地点にいるのか。その表現を、彼らの「途中の部分」の向こう側にあるものを想像しつつ、ご覧ください。



【アクセス】

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

〒604-0052 京都市中京区押小路町 238-1

地下鉄：「二条城前」駅(2番出口)徒歩3分

バス：「堀川御池」バス停下車すぐ

TEL：075-253-1509

MAIL：gallery@kcua.ac.jp

http://gallery.kcua.ac.jp

2017.1.28(土) - 2.12(日)

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

11:00 - 19:00 月曜休館 入場無料

主催=文化庁、京都工芸繊維大学、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、京都市立芸術大学

制作=京都工芸繊維大学美術工芸資料館

文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

撮影：市川靖史(※寺岡海作品を除く)

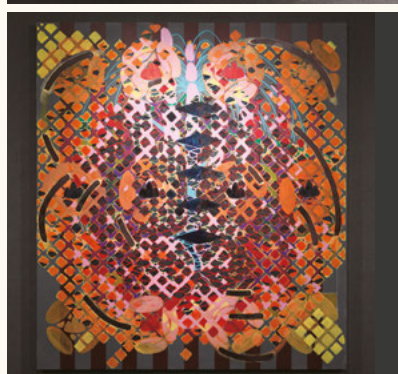
小笠原周
《アブドミナル&サイ》



香川裕樹
《机上の実践》



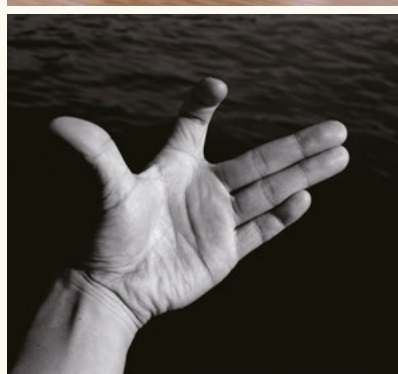
清田泰寛
《素足にマツメ》



小宮太郎
《color state [what color is donut holes?]》



寺岡海
《My Hand Sculpture 鳥の名前/The name of a bird》(部分)



むらたひろ
《city》

